

令和元年11月1日 おかげさまで、創業30周年を迎えました。

平成元年11月	個人事業として創立平成4年8月組織変更により、有限会社東部設立	平成23年6月	相模原機材センター開設神奈川県相模原市緑区下九沢1285-1
平成11年	国内初、地盤保証制度導入地盤保証検査協会神奈川県支部開設	平成24年6月	e-pile鋼管杭工法(財)日本建築総合試験所性能評価取得GBRC 建評-12-231A-002 砂質地盤(礫質地盤を含む) 12-231A-003粘土質地盤
平成12年7月	組織変更により、株式会社東部資本金10,000,000円にて変更設立	平成24年10月	e-pile鋼管杭工法国土交通省大臣認定取得TACP-0425 砂質地盤(礫質地盤を含む) TACP-0426粘土質地盤
平成14年4月	(株)日本住宅保証検査機構(J T O)加盟	平成26年12月	東京営業所開設東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2朝日生命幡ヶ谷ビル6階
平成14年5月	X-Pile鋼管杭工法建築性能技術証明取得	平成27年4月	e-pile next 鋼管杭工法(財)日本建築センター性能評価取得BCJ基評-FD00219-01砂質地盤(礫質地盤) FD00220-01粘土質地盤
平成17年4月	株式会社東部施工管理センター設立(資本金10,000,000円)	平成27年7月	e-pile next 鋼管杭工法 国土交通省 大臣認定取得 TACP-0483 砂質地盤(礫質地盤) TACP-0484粘土質地盤
平成17年4月	株式会社東部地盤評価センター設立(資本金10,000,000円)	平成27年8月	e-pilenext鋼管杭工法日本建築センター/評定取得(引抜き支持力) BCJ FD0540-01 (砂質地盤) FD0541-01 (礫質地盤) FD0542-01 (粘土質地盤)
平成17年10月	自立型鋼管柱列式RC擁壁Y O S A K U工法開発	平成28年8月	株式会社東部資本金30,000,000円に増資
平成18年4月	株式会社東部資本金20,000,000円に増資	平成28年10月	e-pilenext鋼管杭工法国土交通省「NETIS」登録登録番号:KT-160071-A
平成18年6月	特定非営利活動法人住宅地盤品質協会加盟	平成28年12月1日	新・相模原機材センター開設相模原市緑区町屋1-4-37 (敷地約1,800㎡)
平成18年7月	財団法人住宅保証機構地盤業者登録	平成30年12月25日	経済産業省「地域未来牽引企業」選定受証
平成21年1月	e-pile鋼管杭工法(財)日本建築総合試験所性能評価取得GBRC 建評-08-231A-003 砂質地盤(礫質地盤を含む) 08-231A-004 粘土質地盤		
平成21年2月	e-pile 鋼管杭工法国土交通省大臣認定取得		
平成21年4月	e-pile 鋼管杭工法 財団法人日本環境協会エコマーク認定取得日環エコ090403066エコマーク認定番号 08 131 022TACP-0325砂質地盤(礫質地盤を含む) TACP-0326粘土質地盤		

感謝の気持ちで30周年

変わる時代、変わらぬ基本

私たち株式会社東部は、これからも、「人・暮らし・環境」を大切にします。を基本に、次世代へ繋ぐ明るい未来を創造し、基礎建設事業の更なる発展に向け努力して参ります。今後とも、より一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



国土交通省大臣認定工法

登録番号:KT-160071-A

- 国土交通大臣認定 TACP-0483 砂質地盤(礫質地盤を含む) TACP-0484 粘土質地盤
- 日本建築センター 基礎評定(引抜き支持力) BCJ評定-FD0540-01 砂質地盤 BCJ評定-FD0541-01 礫質地盤 BCJ評定-FD0542-01 粘土質地盤
- 日本環境協会 エコマーク認定 08 131022号

全ての鍵は杭先端にあり

■ 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

■ 貫入性の問題を・・・「**変型穴**」により解決しました。

■ 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。

■ コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造/拡翼断面図



(両面溶接) (特殊部/分割構成)

■ FEM解析図



杭本体 ↓ 特殊部(厚肉)セ

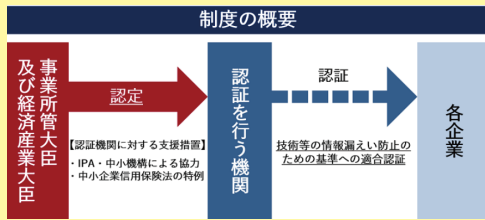
建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

検索 e-pile

検索

技術等情報の適切な管理に向けて

平成30年9月25日、産業競争力強化法に基づき、企業の技術等の情報の管理について、国で示した「守り方」に即して守られているかどうかを、国の認定を受けた機関による認証を受けられる「技術等情報管理認証制度」がスタートしました。



「技術等情報管理認証制度」の主な特徴

サポートコンテンツで情報管理対策の推進を支援

- (1) セルフチェックシート 必要な情報管理対策をチェックし、自社の情報管理情報を把握
- (2) 研修素材 各情報管理対策の解説や具体的な対策を例示

2. よくあるご質問と回答

Q 制度名にある「技術等情報」は何を示しているのでしょうか？

A 企業の強みとなる情報や他社との差異化のために重要な情報など、意図せざる流出から守らないといけない情報です。以下に例示するような、情報があります。

・金型・試作品・製造装置・製造プロセス情報・研究情報・製造設計図・CAD・顧客情報・仕入先情報・業務マニュアル・製造/業務/業務/ノウハウ

Q 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 認証との違いは何ですか？

A 本認証制度は、自社のレベルに合わせて情報管理対策を選択でき、まずは内部監査による自己宣言に対する認証、次に認証機関による現地審査での認証、と段階的になっているので、ISMS認証へのステップとして活用することができます。

※各制度・詳細は経済産業省のHPをご覧ください。

技術をはじめとする、大事な情報の管理が不十分・・・
 企業経営の重要な資源である「技術をはじめとする大事な情報」。その管理が不十分で情報漏えい・紛失を起すと、取引停止になったり業務や売上に大きな損害を被る可能性があります。また、取引条件に適切な情報管理が求められることも増えています。

ワンポイント 健康コラム

冬の水分補給

水分補給

皆さんは冬も意識的に水分を補給されていますか？
 夏は熱中症予防のために積極的に水分補給をする方も多いですが、冬は空気が乾燥しているため、風邪予防の面からもこまめな水分補給が必要になります。
 そこで、今回は水分補給による健康管理についてご紹介いたします。
 私たちは毎日食べ物や飲み物から2～2.5リットルの水分を摂取し、尿や便、汗などで同じくらいの量を排出しています。
 これは季節による変化はさほどありません。
 水分補給の重要性は夏場と変わらないのです。



病気を予防する水分補給

- ◆**風邪**・・・風邪やインフルエンザのウイルスは乾燥した状態で活発になるので、のどや鼻の粘膜が潤っていることがポイントです。
- ◆**高血圧**・・・水分を多く摂ることで高血圧の原因となる余分な塩分の排出を助けます。
- ◆**痛風**・・・尿の量が減ると痛みの原因となる尿酸が十分排出されません。水分をたっぷり摂ってどんどん尿を排泄しましょう。
- ◆**脳卒中・心筋梗塞**・・・水分の摂取が少ないと血液の粘度が上がって血管が詰まりやすくなるため、結果として脳卒中や心筋梗塞を引き起こす可能性が高くなります。
- ◆**糖尿病**・・・血糖値が上がるとそれを排泄するために尿量が多くなり、体の水分が失われます。水を飲むことは予防につながりますが、くれぐれも糖分が含まれていないものを飲むようにしましょう。

アレルギー性鼻炎や皮膚炎などのアレルギー疾患が起きやすくなるのもこの時期のため、お掃除の際はハウスダストにも気を付けてください。

上手な水分補給の仕方

カラダに占める水分量は成人で体重の50～60%、赤ちゃんでは70%にもなります。食事から摂取する水分が約1000ml、体内での代謝水が約200mlだとすると、飲料水として800～1300mlが必要となる計算です。ちょっと汗をかいたなというときは1800mlほどを摂るよう心がけましょう。一気に飲むと胃の負担となってしまうため、1回200mlを目安に分けて摂取しましょう。朝、目覚めた時、10時と3時のおやつ時、入浴前後、寝る前など、コップ1杯ずつ程度のこまめな水分補給が健康の鍵となります。

私たちが生きていくために「水分」は欠くことのできない存在です。水分は、体温調節をしたり筋肉を動かす働きをしたりするほか、血液として栄養素を全身に運んだり、汗や尿として老廃物を体外に出すなど生命維持に欠かせない大きな役割を担っています。毎日こまめにお水を飲む習慣をつけ、健康な身体を作っていきましょう。



経理マンが行く

台風被害

このたびの台風により、お亡くなりになられた方々ならびに大切なご家族を亡くされた皆様、また、お怪我や被災された皆様には、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。また未だに、通行止めや停電・断水が続く、不慣れた生活を強いられている方もいらっしゃると思います。1日でも早く、安心な生活を取り戻していただけますよう、心よりお祈り申し上げます。
 今回の台風では弊社本社がある相模原市緑区でも、報道されたように台風上陸前から豪雨が続きの影響で、相模原市緑区、とくに山間部の旧津久井4町地域で土砂崩れ、倒木、道路寸断、家屋倒壊、床上、床下浸水など甚大な被害が生じています。また、複数の犠牲者もでております。「災害ゴミ」も大量に出ています。相模原市では「罹災証明書があれば、無料で処理できる」とした後、「証明書なしでも対応できるように」という声を聞き入れ、罹災証明書なしでも災害ゴミならば無料で対応されることになりました。さて、床上浸水してしまった場合、その後の処理ですが、できるだけ早く床下の水と泥を掻き出す必要があります。丁寧に掃除した後は、業務用送風機などを活用して、床下を乾燥させます。この乾燥には約1週間程度かかります。この乾燥の工程を省いてしまうと、カビが生えやすくなったり、微生物による臭い残りやすくなりますので慌てずにしっかりと時間を取って乾かしましょう。次は、消毒です。床下の消毒には、クレゾール石けん水、逆性石けん、消石灰などを用います。水害の泥水には、雨水だけではなく生活排水、土砂、動物や虫の死骸も含まれていて、消毒をしておかないと感染症の原因となることがあり大変危険です。浸水後に心配される主な感染症は、傷口から感染する破傷風、粉塵を吸い込む事で感染するレジオネラ菌などです。破傷風は、人から人に感染はせず、ワクチン接種により約10年間ほぼ100%感染を防ぐことができるといわれています。抗体がないと認識している方は活動前にワクチン接種をしておくことと良いでしょう。特にレジオネラ菌は、泥水に接触した場合だけではなく、作業中に巻き上がったホコリや水蒸気を吸い込むことで感染することがあり感染すると、肺炎、高熱、頭痛、激しい咳などのレジオネラ症を起し、最悪の場合は死に至ります。子供や高齢者、避難生活で免疫力が低下している人は重症化しやすいのでより注意が必要となります。

作業をする際には、**ゴム手袋や長靴に加えて、防塵用マスクを必ず着用し、土壌から舞い上がるホコリや水蒸気を吸い込まないようにしましょう。**

自分で消毒を行う場合、クレゾール石けん水は、ドラッグストアで入手でき、費用は100mlで約200円～が相場です。手指や傷口の消毒殺菌、便器やごみ箱の殺菌にも使用できます。逆性石けん



(塩化ベンザルコニウム)は、カビの殺菌・消毒に効果があると言われていた殺菌消毒薬で、こちらもドラッグストア等で購入ができます。逆性石けんが使用されているハンドソープなど家庭用のものは500mlで約800円～で購入できますが、床下消毒に使用する希釈用のものは4Lで約3500円～が相場です。消石灰は園芸用品としてホームセンターなどで購入でき、費用は20kg約1000円～が相場です。白い粉末状になっており、1平方メートルあたり1kgを目安に散布します。いずれの消毒薬も、水害時は役所で配布していることもあるので問い合わせてみてください。